

1. 北海道大学医学部 (国立) Hokkaido University · School of Medicine

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

<http://www.med.hokudai.ac.jp/>

電話011-716-2111(代)

FAX011-717-5286

e-mail : kyomu@mrd.hokudai.ac.jp

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は

一般教育（教養）にはない。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を医学と共に歩む（専門科目）、医学を支える豊かな教養（教養科目）という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて2年生に編入する。 編入生の編入時期はすべて10月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間合宿して行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：6日間：早期臨床演習（学外演習）

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されていない。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを部分的に採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。

K. 今後のカリキュラム改訂は平成20年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

- ・ 学士編入時期の変更に伴い、基礎医学の授業開始を2年次後期からとすることで、内容の充実を図る。
- ・ 進級、臨床実習資格要件を明確・厳格化し、習得目標を明らかにする。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

- ・ ボーダーラインの学生に対して、節目毎に検討する機会を設け、個別の指導を行う。
- ・ 一部に基礎医学研究から大学院に進学するコースを設け、積極的に学問的・経済的支援を行う。

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない。

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にいる。
- B. 他大学との単位互換について認めている。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約47%である。
- E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は調査していないのでわからない。
「生物」を履修しなかった学生に対して特別に対応してはいない。
- F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていた。
入学者のうち「生物」を選択していた学生は76.8%であった。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が
1年生の時に平均して1週1.5時間×30週間配属される。
2年生の時に平均して1週1.5時間×15週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
（13日間）
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週22.5時間で、40週間
6年の時、1週22.5時間で、12週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）
で臨床実習を行っている。
その期間は全部で6週で、そこで行う実習科目は（臨床演習（夏期自主演習））である。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の
範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。そして不合格の場合は、不
合格科目のみ再度臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については

- ・マニュアルが刊行されている。
- ・事前に学習枠を設けて学習している。
- ・保険制度に加入している。
- ・ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は基礎医学実習のみを行う機会がある。
期間は最長 基礎医学実習は3週である。

7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは2年1学期終了時、3年1学期終了時である。
- B. 成績の記録法は数段階制（優、良、可、不可、A、B、C、Dなど）を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は講座ごとの試験である。
 時期は9月から11月まで、期間は11週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、臨床講義、臨床実習が組まれている。また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。
 自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。
 その評価結果は昇進などに関係しない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われることはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨 床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授		20	29		1	50
	准教授		7	31	1	1	40
	講 師		3	43			46
	助 教		30	105			135
	その他		4	2			6
	合 計	0	64	210	1	2	277

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授		11	8			19
	准教授		1	19		1	21
	講 師			1		2	3
	助 教		1	9		4	14
	その他						0
	合 計	0	13	37	0	7	57

- * 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。
- ** 基礎は社会医学を含む。
- *** 臨床は附属病院・分院を含む。

- B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。
 任期制の制度の概要は下記のとおりである。

<ul style="list-style-type: none"> ・助教は任期付助教と任期なし助教の2種類とする。 ・採用及び配置換の助教は、全て5年の任期を付すものとし、かつ再任なしとする。 ・任期付助教の所属は研究科長付とし、分野等に配属する。 ・任期付助教は審査により任期なし助教へ変更させることができる。
--

- C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	95	11					
2	104	24	5	4	1		
3	113	15	5	13	8	1	
4	101	24	5	1			
5	87	20	5	3			
6	109	27	5	1	2	2	1
合計	609	121	25	22	11	3	1

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数424名、合格者数95名、倍率4.46倍

入学者数95名、（定員95名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役38名、1浪24名、2浪13名、その他20名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

2学年 5／317、3学年 5／318

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数483名、合格者数95名、倍率5.08倍

入学者数95名、（定員95名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役34名、1浪30名、2浪15名、その他16名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数

3学年 5／239

B. 編入学者地域わくについて

現在、地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

今後、検討する予定はない。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		45	67.5	
2		○		45	405	
3		○		495	472.5	
4		○		720	135	
5		○			900	
6		○			375	

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年なし

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
A		B	C	D	E	E, F※
						C

(註) A：教養

B：基礎医学総論

C：臓器別総合カリキュラム（基礎各論、臨床、社会医学）

D：診断学

E：臨床実習、合同講義、CPCなど

F：医学論文作成※選択実習

旧カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A		A			
		B	C, F※1	E	E
			D		G※2

(註) A：教養（一般教育、基礎教育）

B：基礎医学（生理系：解剖、生理、生化など）

C：基礎医学（病理系：病理、微生物、薬理、寄生虫など）

D：社会医学（衛生、公衛、法医）

E：臨床医学（卒業試験を含む）

F：基礎医学や社会医学への配属やセミナー ※1 基礎医学実習（基礎分野3週間）

G：学外研修（国内外を含む）※2 臨床演習（夏期自主演習 学外6週間）

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
[医学教養] 専門基礎科目			
医学概論	22.5		22.5
早期臨床演習		22.5	22.5
医学史	22.5		22.5
診療学入門Ⅰ		90	90
医学研究実習Ⅰ		67.5	67.5
[医学基礎] 専門基礎科目			
診療学入門Ⅱ		90	90
[医学基礎] 生理系科目			
プレメディカル演習Ⅰ(解剖学)		90	90
プレメディカル演習Ⅱ(生化学)		90	90
プレメディカル演習Ⅲ(生理学)		90	90
解剖発生学	45		45
解剖学実習		90	90
組織学実習		45	45
生理学	45		45
生理学実習		45	45
生化学	45		45
生化学実習		45	45
神経科学	45		45
内分泌学	22.5		22.5
血液・免疫学	22.5		22.5
消化・吸収・代謝学	22.5		22.5
呼吸・循環学	22.5		22.5
[基本臨床] 病理系科目			
病理学	45		45
病理学実習		45	45
細菌学	45		45
細菌学実習		45	45
薬理学	45		45
薬理学実習		45	45
○統合・薬理学	22.5		22.5
○統合・腫瘍Ⅰ	45		45
○統合・病態演習	45		45
[基本臨床] 社会医学系科目			
法医学	22.5		22.5
法医学実習		22.5	22.5
[基本臨床] 専門基礎科目			
医学研究実習Ⅱ		22.5	22.5
[基本臨床] 社会医学系科目			
衛生学	45		45
公衆衛生学	45		45
衛生・公衆衛生学実習		45	45
[基本臨床] 基本臨床科目			
放射線医学	11.25		11.25
○統合・循環器	45		45
○統合・腎尿路	22.5		22.5
○統合・膠原病・アレルギー	22.5		22.5
○統合・感染症	22.5		22.5
○統合・呼吸器	45		45
○統合・神経・筋	22.5		22.5
○統合・消化器	45		45
○統合・内分泌・代謝	11.25		11.25
○統合・麻酔・救急医学	45		45

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
臨床病理学	11.25		11.25
○統合・血液	11.25		11.25
○統合・腫瘍Ⅱ	22.5		22.5
精神医学	22.5		22.5
皮膚科学	11.25		11.25
小児科学・小児外科学	33.75		33.75
外科学特論	22.5		22.5
産婦人科学	33.75		33.75
神経外科学	11.25		11.25
形成外科学	11.25		11.25
整形外科学・スポーツ医学	22.5		22.5
リハビリテーション医学	11.25		11.25
眼科学	11.25		11.25
耳鼻咽喉科学	11.25		11.25
泌尿器科学	11.25		11.25
核医学	11.25		11.25
地域医療学	11.25		11.25
医療情報学	11.25		11.25
特別講義	45		45
診断学実習		90	90
[実習] 基本臨床実習科目 臨床実習		900	900
[実習] 実習科目 選択実習Ⅰ		135	135
選択実習Ⅱ		135	135
[実習] 基本臨床科目 臨床基礎講義Ⅰ	90		90
臨床基礎講義Ⅱ	45		45
合 計	1440	2250	3690

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	45	67.5	112.5
2 学年	45	517.5	562.5
3 学年	495	360	855
4 学年	720	135	855
5 学年		900	900
6 学年	135	270	405
合 計	1440	2250	3690

16. その他の教育内容

下記の教育内容は独立した授業科目*として授業が行われていますか。

独立した科目として授業が行われている科目：

医史学（必修）、医療情報学（必修）、プライマリ・ケア（必修）、臨床医学（必修）、特別講義（必修）、
医学概論（必修）、診療学入門Ⅰ・Ⅱ（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

人類遺伝学（臨床遺伝学）、医用（電子）工学、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、医学外国語、
医療安全、医の倫理、緩和ケア、医療経済、高齢医学、在宅ケア・介護、家庭医学、人間関係学、医
療保険

設問18. MD-PhDコースを設置していない。